

PDCAサイクルの一環として、健康・医療戦略の実行状況と今後の取組方針を、毎年度、健康・医療戦略推進本部で決定。

平成29年度の主な実行状況・成果

平成30年度の主な取組方針

研究開発

がん早期診断に有用なマーカー(マイクロRNA)の測定技術を開発(非臨床POC取得)。**声帯筋肉が痙攣を起こす疾患のための医療機器(チタンブリッジ)**を開発(薬事承認)。

「**医療研究開発革新基盤創生事業(CICLE)**」に**300億円**を追加措置。スタートアップ型ベンチャー企業の支援枠組みを新設して公募開始。

新たな血中バイオマーカーを利用した認知症の診断法開発を開始。**バイオ医薬品の連続生産技術**について、品質管理技術と合わせた開発を開始。

本年10月をメドに採択。採択課題について、AMEDにおいて伴走支援・課題管理を密に行い、産学官連携による医療研究開発を推進。

デジタル化・ICT化

「次世代医療ICT基盤協議会」の下、データの標準化を含め、**次世代医療基盤法の施行に向けた検討**を実施。

健康・医療・介護の分野を有機的に連結したICTインフラ構築のため、厚生労働省の「**データヘルス改革推進本部**」で検討を実施。

データの標準化や匿名加工医療情報作成事業者の認定を含め、**次世代医療基盤法を適正かつ円滑に施行**。

「データヘルス改革推進本部」における議論を踏まえ、**複数のデータベース間の連携・解析を行うシステム構築**に取り組む。

新産業創出

保険者や企業等による健康投資を促進するため、「**健康経営銘柄2018**」として26社選定するとともに、「**健康経営優良法人2018**」として大規模法人部門で540超、中小規模法人部門で770超の法人認定。

糖尿病重症化予防に繋がる行動変容を促す方法等について、厳密な検証事業を開始(平成29年度～31年度)。

健康経営優良法人の認定要件の見直し等を通じて取組の質を向上。**各健保組合の加入者の健康状態等のスコアを経営者に通知**開始。

糖尿病以外の生活習慣病や介護予防等の分野についても、IoT等活用行動変容研究事業において、IoT活用による疾病の予防等に係る効果を検証する実証研究を開始。

国際展開

介護技能実習生の円滑な受入れのため、**日本語学校の民間認証制度**の構築、**新たな日本語テスト**の採用等について検討。

海外における**日本の医療拠点を合計21拠点構築**。
渡航受診者受入れについて意欲・能力のある**41病院を公表(JIH)**。

医療の国際展開をアウトバウンド・インバウンド両輪で推進(海外における日本の医療拠点については、平成30年5月時点で合計23拠点を構築済)。医療・介護サービスに限らずヘルスケア分野全体をパッケージでアジアに提案するため、「**アジア健康構想に向けた基本方針**」を改訂。